

科目名	まつり実践実習 I			科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
					国際観光学科	□必修	■選択
英文表記	Practice and Training of Festival I			開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
ふりがな	いのうえひろし	かわぐちまこと	よこたけさぶろう	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	井上 寛	川口 誠	横田恵三郎	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	竿燈まつりとその伝統を理解する						
到達目標	1. 伝統文化を守り続けることの重要性を理解できるようになる。 2. 竿燈まつりに出場できる技と心算を身につけることができる。						
授業概要	国指定重要無形民俗文化財に指定されている「竿燈」の歴史とその意義を学び、差し手、囃子(笛・太鼓)、かけ声を練習し、技をみがいたうえで、8月3日～6日の竿燈まつりに出場します。						
授業計画							
第1回	オリエンテーション／竿燈の歴史と概要			第17回	竿燈の公式練習1(体育館前)		
第2回	竿燈の実技1(体育館)			第18回	竿燈の公式練習2(体育館前)		
第3回	竿燈の実技2(体育館)			第19回	竿燈の公式練習3(体育館前)		
第4回	竿燈の実技3(体育館)			第20回	竿燈の公式練習4(体育館前)		
第5回	竿燈の実技4(体育館)			第21回	竿燈の公式練習5(体育館前)		
第6回	竿燈の実技5(体育館)			第22回	竿燈の公式練習6(体育館前)		
第7回	竿燈の実技6(体育館)			第23回	竿燈の公式練習7(体育館前)		
第8回	竿燈の実技7(体育館)			第24回	竿燈まつりの準備作業		
第9回	竿燈の実技8(体育館)			第25回	竿燈まつりの参加1-1		
第10回	竿燈の実技9(体育館)			第26回	竿燈まつりの参加1-2		
第11回	竿燈の実技10(体育館)			第27回	竿燈まつりの参加1-3		
第12回	竿燈の実技11(体育館)			第28回	竿燈まつりの参加2-1		
第13回	竿燈の実技12(体育館)			第29回	竿燈まつりの参加2-2		
第14回	竿燈の実技13(体育館)			第30回	竿燈まつりの参加2-3		
第15回	竿燈の実技14(体育館)			第31回	竿燈まつりの片付け作業		
第16回	実技試験						

授業時間外の学習	授業以外にも自主練習、本番が近くなれば公式練習があります。また、演技の上達のみならず全体の調和が重要です。積極的に参加してください。
履修条件 受講のルール	全くの初心者の人でも基本から指導しますので興味があつたらぜひ履修してください。 秋田市竿燈会より、感染予防対策の徹底が要請されています。マスクは徹底して着用してください。 科目の性質上、授業時間外での練習が必要です。上達の状況や整容、参加態度によっては、竿燈まつり本番に参加できないことがあります。
テキスト	授業時に適宜資料を配布します。(特定のテキストは使用しません)
参考文献・資料	秋田市竿燈会「竿燈ができるまで一竹の準備、親竹、横竹、継竹のつくり方、竿の組み立て方」
成績評価の方法	①竿燈まつりへの参加(40%) ②実技試験(30%) ③取組姿勢(30%) ※取り組み姿勢や活動に対する意欲を総合的に評価します。 ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。
オフィスアワー	井上：毎週月曜日 1 時限と毎週金曜日 3 時限 川口：毎週月曜日 4 時限と毎週火曜日 2 時限 横田：毎週水曜日 2 時限と毎週木曜日 3 時限
成績評価の基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	
学生への メッセージ	秋田といえば「竿燈」というくらい全国的に有名なまつりに参加するための授業です。観客を感動させるためには、上手に演技するために努力をすることはもちろんのこと、その歴史や伝統をしっかりと理解することが重要です。「魂」を吹き込んだ演技をできるように一緒にがんばりましょう。